

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：永島]
TEL：0853-22-6772
FAX：0853-24-3342

平成20年度 病害虫発生予察情報 特殊報第2号

平成20年10月31日
島根県

キク茎えそ病の本県での初発生が確認されたので特殊報を発表します。

【概況】

平成20年9月、出雲市の施設栽培のキクにおいて、県外から購入した苗に葉のえそ症状、茎のえそ・湾曲を示す株が認められた（図1～4）。本症状は、本県ですでに発生が認められているキクえそ病（*Tomato spotted wilt virus*; TSWV）に酷似していたため、ELISA法による診断を試みたが検出されなかった。そこで、（独）九州沖縄農業研究センターに同定依頼した結果、*Chrysanthemum stem necrosis virus*（CSNV）に特異的なプライマーを使用したRT-PCR法により、本県未発生のCSNVによるキク茎えそ病であることが確認された。

本病は、広島県、栃木県、千葉県、群馬県、熊本県、秋田県で発生が確認されている。

- 1 病害虫名 キク茎えそ病
- 2 病原名 *Chrysanthemum stem necrosis virus* (CSNV)
- 3 作物名 キク、品種 新神2
- 4 発生場所 出雲市
- 5 発生生態

1) 病徴

茎えそ、葉の退色・えそ・輪紋、奇形を呈し、TSWVによるキクえそ病に酷似するため、病徴から病原ウイルスを特定することは困難である。本ウイルスはCSNVに特異的なプライマーを使用したRT-PCR法によって診断が可能である。

2) 伝染経路

ミカンキイロアザミウマにより持続伝搬される。また、感染した親株を用いた挿し穂等による栄養繁殖による伝染もある。種子伝染や土壌伝染はしないと考えられる。

3) 宿主範囲

キク以外では、ブラジルでトマトへの感染報告がある。

6 防除対策

- 1) 県外産の苗を使用する場合は、このような症状がないか注意する。
- 2) 発生圃場では、感染株の抜き取り・埋没処分などを行い、二次感染防止に努める。
- 3) 発生圃場の株を親株として使用しない。発病していなくても無病徴感染の疑いがあるので使用しない。
- 4) ウイルスの伝搬はミカンキイロアザミウマによって行われるため、媒介虫の防除を行う。
- 5) 施設の開口部に防虫網や寒冷紗等を張り、施設内へのミカンキイロアザミウマの侵入を防ぐ。
- 6) 圃場内及び周辺の雑草はミカンキイロアザミウマの繁殖場所となるので、施設内外の除草を徹底する。



図 1. 葉のえそ症状



図 2. 葉のえそ症状



図 3. 葉・茎のえそ症状



図 4. 葉・茎のえそ、湾曲症状